

Ohmi
Net

No.
39
1・2月号

おひめネット



Q1.男女がともに、イキイキするために必要なことは？

県民174人巻頭アンケート結果

- 女性(母性あり、子育てする性があると思う)、男性(父性あり、男性も子育てしてほしいと思う)それぞれの役割もあると思うがこれからは一人の人間として自立して生きていけるよう、男の子も何でもできる子に育てていけるよう、学校でも家庭科を教えてほしいです。
- お互いを大切に(感謝の)気持ちを持つような人間に育てること。思いやる気持ちを持つ、社会でも家庭内でもうまくいきたいと思います。
- 子育ては夫婦で協力して。料理は男性も時々担当する。洗濯は男性も手伝う。男女ともそれぞれの趣味を持つ。男性・女性も共に学ぶ。社会的役割もどんどん女性が進出する。
- 子どもに手本を見せるため、パパにすすんで家事をしてもらい、将来の子どものためにまず親が動くこと。
- 男女とも育児休暇が取りやすい社会にすることが必要。これは男のすること、女のすることと区別しない
- 女子をリーダーなどに推薦しない傾向はまだある。女らしく、男らしくという問題ではないことを小さい内から教育すべき。
- 服の色、髪型をはじめさまざまな部分で同じになるようにする。キャンペーンガールなど女性を使った広告、火曜サスペンス劇場などで女性が温泉に出かけるようなネタで数字をかせぐ事を規制する。マスメディアの影響は多大であるので、そちら側が意識していただくのが一番の近道ではないか？
- 家事の分担は基本。仕事も子育てもお互いの理解と協力が必須。一生懸命生きる親の姿を見て、子どもも当たり前にか家の手伝いができるのでは
- 会社では同等の仕事させ、目標も同じ設定にする。もちろん会社も評価を横一線に判断し、出来る人間には相応の役割、手当てをつける。
- 男女平等が一番です！でも少しは女性有利がいいかな？(笑)←私が女性だから！
- 男とか女だとかにこだわらず、その人に合った仕事なり家事なり趣味などをやれる社会になればいいし、今は少しずつそうなりつつあると思います。
- 共に仕事を持ち、共に家庭を支える。いろんな人と関わる、いろんな情報を得る、いろんな事に興味を持つ、積極的に行動する、女性の指導者を増やす。
- 家庭生活での分業ができる家族関係を造る。
- お互いへの思いやり。小学生から男女の違いの「生」と「性」の教育を。違いを認めて理解しようとする事が大事。
- どんな小さい事柄でも男女にかわりなく、連絡しあう。これぐらいならあいつもわかってくれるやろう、はダメ
- 生理学的から考えると、完全な男女平等(同等?)が有り得ないのは明らかな事ではないでしょうか。お互いにそれぞれの違いを認識した上でお互いを認め合う事、即ち尊敬し合う事が必要だと思います。

必要なのは？
イキイキするために
男女がともに

県民
174人
巻頭アンケートVOL5



◀◀◀ 中面につづく

「マニフェスト」(=政権公約、政策綱領)が、2003年の新語・流行語大賞のひとつに選ばれた。先の衆議院選挙では、マニフェストが大きな話題となり、各政党が競ってマニフェストを公表し、具体的な政策を比較しながら政権を選択する選挙が行われたという評価がなされている。

このマニフェストを提唱したのが、北川正恭早稲田大学大学院教授(前三重県知事)である。北川さんは、知事時代に生活者視点を重要視し、情報公開を積極的に進め、県民参画による県政運営を行ってきた。その手法と政策は、改革派知事の中でも非常に高い評価を受けてきた。北川さんは、昨年の統一地方選に臨む候補者が、抽象的な選挙公約でなく、財源・期限・数値を明らかにしたマニフェストを示して選挙すべきだということを主張していた。こうした地方選挙で始まった動きが、国政の場でも主張されるようになり、政党の政策を見て市民が選択するという新たな投票の指標を示したと言える。

政治・行政を巡る問題は数多くある。そうした諸問題の内、国政の場面では、イラクへの自衛隊派遣、憲法改正、年金改革、三位一体改革、金融機関の破綻処理など、地方自治ではたとえばダムの見直し、産業廃棄物処理施設など、二局的に意見が対立するケースがある。こうした対立する政策課題を自分なりの考えで整理している人はどれだけ存在するのだろうか。当然、自分の思考を整理するには、それらを比較し、検証する過程が必要だ。その思考過程がマニフェストと結びつくのである。

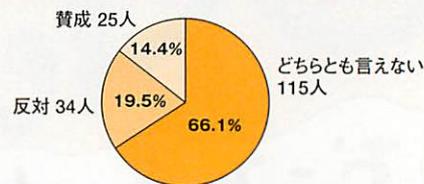
NPOに話を置き換えると、ミッション(=使命・目的)やビジョン(=構想)は、選挙公約に近く、事業計画や3年計画は、マニフェストという発想に近い。ミッションやビジョンはNPOにとっては非常に大切だが、そのために、当面、あるいはこの2~3年何をどういう形にしていけるかを考えていくことが、NPOにどれだけ支持が集まるかということにつながるのである。それは政権選択のマニフェストのようなものなのである。



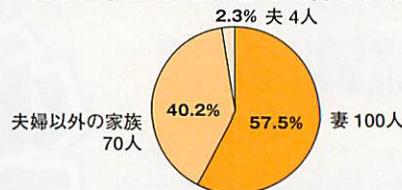
男女がともに、イキイキするために必要なことは？ 県民174人巻頭アンケート結果

▶▶▶ 表紙よりつづき

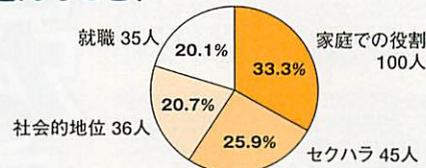
Q2.「夫は外で働き、妻は家庭を守る」をどう思いますか？



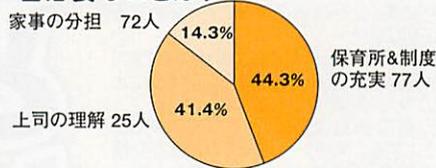
Q3.保育園で子どもが熱を出しました。 あなたの家では誰が迎えに行きますか？



Q4.「男女差別」を一番感じるのは どんなこと？



Q5.男女がともに働きやすくするために 一番必要なことは？



アンケート：携帯情報メール発信会社「j2メール」協力
県民：174名(回答人数) 男性：71名 女性：89名 性別不明：40名 10代：9名 20代：72名 30代：47名 40代：20名 50代：12名 年齢不明：14名

【3月号のアンケート】
次回3月号は森林保全をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくは「センターインフォメーション」をご覧ください。

CONTENTS

NPOってナニ?... ①

第17回 NPOにとってのマニフェスト?
阿部圭宏 (NPO市民熱人代表)

特集・Oh!Me!Eyes... ②

KIRARI★INTERVIEW... ③

私たち「きらり」輝いています!NPO
●守山手話サークル(福祉)
●パソコンボランティア能登川 和(やわらぎ)なっと!(福祉)
●水口21世紀まちづくり委員会(まちづくり)

がんばれ!NPO 応援団... ⑤

【めとと★コラボ】
【マネジメント講座Q&A】
【ONLY ONE リレーエッセイ】
【スローグッズ探検隊】

行って来て見て情報BOX 1月・2月 ⑨

地域プロデューサーが育つ

「おうちみ未来塾」

淡海ネットワークセンターでは、地域の課題を発見し、解決のための方策を考え、そのための活動や事業を興すことができる人を「地域プロデューサー」と位置づけ、地域プロデューサーが育つ塾「おうちみ未来塾」を開講しています。

今回のおうちみ未来塾では、「おうちみ未来塾」で現在学んでいる四人の方に未来塾への参加のきっかけや未来塾に期待することなどをお話いただきました。

●まず自己紹介と「未来塾」に参加したきっかけをお話してください。

水谷 和菓子のプロデュースの仕事をしていました。未来塾へ参加したきっかけは、入塾案内にあった「地域を徹底して学ぶことが実はグローバルにつながるのだ」という日高塾長の言葉に私の仕事に対する思いとの共通点を感じたからです。信楽に住んでいるのですが、信楽そのものを考えるためにいろいろな活動に参加しています。

小林 県職員です。二年前に愛知川町役場に出向する機会があり、住民の方と接する業務を担当して、住民の暮らしは総合的なんだとあらためて実感し、職場以外の人と知り合うことの大切さを知り応募しました。地域での活動としては、友人と福祉施設や図書館で童謡や唱歌を歌うボランティアをしています。

齊藤 会社に勤めています。入塾の動機は、五

十歳になったのが一つの契機ですね。会社人間が社会人間になるとき、地域への戻り方が難しい。私自身はこれまで放送大学で勉強したり、地元で生涯学習の活動をしたりして、地域への関わりを模索してきました。今まで町内での活動が主でしたから、町外へと広がりを持たせたいと未来塾へ応募しました。

林 守山市職員で現在、淡海ネットワークセンターに研修という形で来ています。昨年度、政策研修センターの「淡海塾」に参加し、初めて市民活動について勉強しました。その結果発表会の時「市民側からの視点では見ていないのですか」という質問を受け、それが頭にずっと残っています。市役所の間でも案外、職場以外の人と知り合うことは少ないので、未来塾でいろいろな方と出会い、その中で学んでいきたいと思っています。

●ほとんどの方が様々な方との出会いとおして学んでいきたいというご意見ですね。ところで、未来塾は「地域プロデューサーが育つ塾」ですが、「地域プロデューサー」についてどんなイメージをお持ちですか。

林 まだ入塾して半年なので具体的なイメージは湧きませんが、自分としては、地域の問題を発見し解決していくとき、一人では解決できないことが多い。そんな時、できる人を引っ張ってこられる、またできる人を見つけ出すことができる能力を持っている人かな。

齊藤 会社で何かプロジェクトを実施するとき目的達成に向かって皆を引っ張っていく。プロジェクトマネージャーに近い存在かなあ。自分自身もまだ明確になっていなくて。五期生の中でも皆で話し合おうとしているところなんです。このことについては4期生の方にお聞きしたいですね。



淡海ネットワークセンターで開かれた座談会の様子。

みんながいきいきと暮らせるために 自分に何ができるのか、未来塾はそれに向かって 歩き出すためのひとつの扉だと思っています。



小林 由季さん
滋賀県エコライフ推進課勤務。
友人とともに童謡・唱歌の合唱・ヨシ笛の演奏などのボランティア活動を行う。4期生。

水谷 辞書によればプロデューサーとは「形がないところから形を創りあげていくこと」と書いてあります。地域プロデューサーはある時はリーダーでもあるし、縁の下の力持ちになることもある。活動するとき、さまざまな人の思いをつなぎ合わせながら創りあげていきますよね。そのとき、じっくり考えないといけないけれども、あまりにも人の思いを考えると物事が動かない。地域プロデューサーはそこら辺の見定めができる人のように思います。

小林 私は、入塾式の際運営委員の岡崎先生が「野球は監督がいて采配を振るうけれども、サッカーの場合はボールを持った人がその時のリーダーで、全体の状況を判断しつつパスを出す。地域プロデューサーはサッカーのミッドフィルダーに近い」というたとえ話をされたのがイメージとしてつかみやすかったです。四期生の中では、みんながそれぞれイメージを持っていて、一つに定義しなくていいんじゃないか、ということになりました。自分が思い描く地域プロデ

ューサーに近づけるように努力しましょう、ということ。私個人としては、住民と関わる仕事や地域活動の中でコーディネートやつなぎ役ができるようになりたいと思っています。

水谷 リーダーシップをとれてもプロデューサーにはなれないということもありますよね！
齊藤 会社でも地域でも人を動かすのは基本的には同じだと思うのですが、会社でリーダーシップを発揮できても地域でうまくいくとは限らない。その違いが何か学びたいですね。

●小林さんと水谷さんは今年二年目ということで、テーマごとに別れてグループ研究をされているんですね。

小林 グループは四つあり、私は「地域家族研究チーム」に入っています。地域の課題はいろいろありますが、その中で在住外国人とご近所づきあいのできる関係づくりをテーマに取り組んでいます。県内の先進NPOの活動訪問や、そこで考えた手法を実際にやってみて検証しながら、何かモデルを示せればと思っています。

水谷 私は生活文化企画集団「よつたり」というグループです。「生活文化とは生きることそのもの。アートはすべての人の持つ力と喜び」というテーマから出発しています。「捨てればただのゴミに！アート体験にすれば感動と笑顔に！」とゴミアートのイベントをしましたが、これをさまざまな地域のイベントにしていこう！そして

で感動体験をつくっていかうと考えています。
齊藤 グループ研究は未来塾を卒業したあとも継続するのですか？

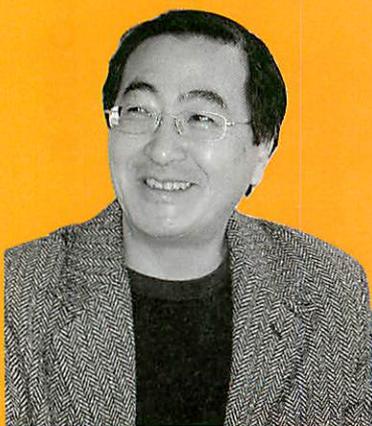
小林 何かを創りあげ成果を上げるには1年間の研究期間は短いと思います。ただ、卒業後も研究を続けるのかどうか、グループ内で話し合いはできていないですね。

水谷 価値観も興味の対象も何もかもバラバラの人間が集まってグループとして研究し、それで期間内に何か成果が出れば一番よいと思いますが、それ以上に、ここで自分たちが何かやっただという経験を通じて学び、そして地域に帰っていくというののもよいと思います。

小林 五期生はこれからグループ分けに入っていくのでみんな不安だろうと思います。でも、四期の方の話を聞いていると、成果も必要だけれども、それ以上にここでの人との出会い、つながりが大切なのかな、と思いました。

●今回の座談会は未来塾をまだ知らない方へ未来塾がどんなところかを紹介することが目的です。もし皆さんが未来塾を勧める場合どのように勧められますか。

水谷 近江のことは近江に住んでいる自分たちにかかっている。メニューがたくさんあるので時間に余裕がある人でないと少ししんどいかもしれませんが、勇気を得るすばらしい学びの場所ですよ、と勧めたいですね。



齊藤 富士夫さん
野洲セミコンダクター(株)勤務。甲西町在住で生涯学習ボランティアの会「甲西まなびすと」会員。5期生。



水谷 光明さん
信楽町在住。「信楽想知ろう会」「信楽風景のある道づくり」「近江地域文庫」など提唱。理学会・鹿深学会員。(有)風人舎経営。4期生。

●最後になにか未来塾に期待することなどありましたらお願いします。

水谷 いろんな経験、世代、個性を持った様々な人が集まった集団が未来塾だと思うので、ここを経験した人が網の目のようにネットワークを張っていく、そしてその網の目から近江が見えてくる。そのためには未来塾が続いていくことが大切です。だから事務局の方にはがんばってもらわないと。

小林 今「協働の時代」といわれます。私が行政の人間だから、やはり行政の方にかかわってもらいたいと思います。ここで人づきあいの経験を重ねることにより、それが仕事上でも役に立つと思います。

斉藤 私は会社勤めの方に勧めたいですね。特に僕らの年代の人。退職されてからでもいいのですが、やはり四、五十代から地域のひとと人づきあいができるようなネットワークづくりを始めていかないとちょっと遅いと思います。

林 私は行政職員がNPOを知るためにいいと思います。役所の中ではNPOの現場を知る機会ほとんどないですよ。だからNPOに対するイメージが変わると思います。



林 龍史さん
守山市より淡海ネットワークセンターに研修派遣。(仮称)もりやま市民活動支援センターの立ち上げに向けて準備中。5期生。

小林 未来塾への期待というよりも、塾をとおして自分がどう変わるかが重要だと思っています。みんなが生き生きと暮らせるために自分に何ができるのかが仕事上でも地域活動でも私にとってのテーマで、未来塾はそれに向かって歩き出すためのひとつの扉だと思っています。また、未来塾でつながりができ、他の地域でがんばっている人を知っているということは強い支えになると思います。

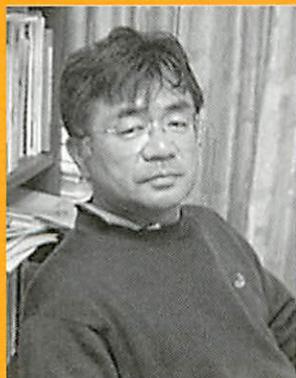
林 ここは地域プロデューサーを「育てる場」ではなく「育つ場」と言っていますよね。だからどれだけ伸びるかは個人次第ですが、何かヒントを得ていきたいと思っています。

斉藤 地域プロデューサーとして地域を元気にするため地域で何か事業を興す、NPOだけでなくコミュニティビジネスも含めてですが、その手法を学びたいと思っています。

●今日はありがとうございました。今年度は「おうみ未来塾」六期生を募集します。地域プロデューサーになって滋賀で活動していただくために、多くの方の参加をお待ちしています。

column・コラム 未来塾に思うこと

1期生・おうみ未来塾運営委員 辻川 作男



家族や地域社会、組織と個人の関係などに顕著なように、個人を取り巻く環境が激変している。価値観や生活スタイル、家族形態が多様化したことに、行政や企業、既成政党といった既存の制度や組織がついていけなくなっている。すなわち、個人の思いをくみ上げ実現する回路や担い手が無くなっているのである。そこで新たな公共の役割を担うものとして期待されるのがNPOである。

しかし、市場や政府の失敗があるように、NPOの失敗も生じる。何故か。公共セクターや市場セクターに比較して歴史や制度がまだまだ浅いからである。

そのために必要なことの1つがNPO自らがインフラ整備を進めることである。そのためには、①NPOのネットワーク化 ②NPOの情報システム(収集・提供・評価)の整備 ③経営ノウハウの取得 ④資金システムの構築 ⑤NPOシンクタンク機能の活発化などに積極的に取り組むことである。

こういった意味で、未来塾は市民社会の担い手たらんとする者に多く示唆を与えるであろう。同時に未来塾は、自らの存在位置の確認と生きることの「志」を得る場とあってほしい。何故なら、人との関係のなかでしか会得できぬ「生きる魂」を磨く場こそ未来塾に相応しいであろうから。

NPO きらり 輝いています！

●河西小学校の総合学習にて手話で使う指文字を教える。



地域でボランティア活動を広めようと奮闘しているあなた、

新たにNPO活動を立ち上げて

琵琶湖のまわりを走りまわっている君、

「淡海」というフィールドで、静かだけど、

どこか「きらり！」と輝いている

ボランティア活動や

市民活動で活躍されている

NPOの皆さんをご紹介します。

市民の立場で『ろうあ』『手話』への理解を啓発していきたいですね

福 社 守山手話サークル

『手話』は、ろうあ者にとってコミュニケーションをとるための大切な言葉です。テレビで紹介される機会も増えてきましたが、歴史的にはまだ浅く、普及活動が始まったのは昭和四十年代からと。守山手話サークルは、昭和五十五年、市の手話講座を受講した人たちが集まって生まれました。「子供の手が離れて、何か社会のお役に立てるようなことがしたかったんですよ」と、当時から参加している古城



●守山手話サークルのみなさん。右から、代表の本郷さん、白井さん、首藤さん、古城さん。

タマ子さん。

メンバーは小学生から八十代までと幅広く、身近にろうあの人が多いいたり、接する機会があつて始めた人が多いようです。おもな活動は月四回の勉強会と、ボランティアや啓発活動が中心。学校の親子フォーラムや地域のイベントでは、布絵本を手話を使って語ったり、手話コーラスなどで楽しく手話を紹介。中学校の総合学習では、子どもたちに、ろうあの人たちにとってなぜ手話が必要なのかを話し、自己紹介など簡単な手話体験を指導しています。

代表の本郷みちるさんは「手話ができなくても、口話や指で文字を書くとか、気持ちを伝える方法はいくらでもありますよ」と言います。手話を使ってもうまく伝わらない時は、前後の言葉の流れや表情などで理解し合うの

だとか。いかに相手の状況や気持ちを理解できるかも技術の一つなのです。「手話」はやっぱり積み重ね。使わないと忘れちゃります。気長に続けて行かないと」と本郷さん。

コミュニケーションは言葉だけでなく、お互いの気持ち、心を伝えるもの。まさしく健常者も同じです。メンバーは手話技術の習得だけでなく、ろうあの人たちが置かれている立場やその背景を知ること、そして手話を含めてその背景を多くの人に知ってもらうことが大切だと考えています。

(編集ボランティア 松井由美子)



●手話コーラスの、守山の喫茶店でのイベントの様子。

守山手話サークル

代表 ●本郷みちる
連絡先 ●TEL: 077-585-2385
設立 ●1980年
会員 ●20名

績も掲載していますので、どんな団体が助成を受けているのか等の付帯情報も入手することができます。また、申請書や応募要項もホームページからダウンロードすることも可能です。「どんな助成財団があるのかわからない」という場合は、(財)助成財団センターのホームページや淡海ネットワークセンターのような支援センターのホームページをこまめにチェックすると最新の助成金情報を得ることができます。特に、シーズ=市民活動を支える制度をつくる会のホームページの助成金情報は締切日順に整理されとても見やすく、情報も大変充実しています。

また、ほとんどの助成金はおおむね決まった時期に募集が行われます。そのため、情報誌のバックナンバーや助成財団要覧などでいつ頃募集されたのかを調べ、その時期にホームページをこまめにチェックすることも情報を素早く入手する方法のひとつです。

このほか、地域限定の助成金の場合、新聞とりわけ地方紙や地方版の募集広告も要チェックです。特に福祉関係の助成金についてはその傾向があります。ただ、締切日まで余裕がないことがありますので、情報を入手すると同時に申請書を記入できるよう、自分たちの活動や事業について書面にまとめる習慣を身につけておく方がよいでしょう。

多くの情報の中から必要な情報を抜き出すのは意外と大変です。淡海ネットワークセンターをはじめ支援センターでは、ホームページのほか、メールマガジンを発行し、助成金情報を流しています。これらのメールマガジンの読者になることも情報の入手には効果があります。

(財)助成財団センターホームページ <http://www.jfc.or.jp/>
 シーズ=市民活動を支える制度をつくる会ホームページ <http://www.npoweb.gr.jp/>



「自転車にやさしいまちづくり」町を走ってマップづくり。



「生ゴミリサイクル」瀬田小学校で堆肥づくり。

「環境活動は、当初、公害反対や自然保護などを中心にスタートし、思いを強くもつ人たちの目的共有・限定型だった。今後は、親しみやすく、楽しく参加できるものも、大切にしたい」。現在、参加人数・団体数は301件。目下の課題は、若い世代や主婦層などの参加、事業者との協働、支援体制の強化、新しいアジェンダへの提言など様々。地域住民・NPO・事業所の皆さん、ぜひ気楽に参加を!

※アジェンダ21は20世紀最大の環境に関する合意、持続可能な社会を形成するための具体的な政策課題を40分野で採択。国だけでなく市町村やNGOが、政策決定と実行の主体と謳っている。

【問】おおつ環境フォーラム事務局(大津市役所環境保全課内)
 TEL: 077-528-2735 FAX: 077-522-1097
<http://www.landscape.ritsumei.ac.jp/ootsu/>

ONLY ONE

リレーエッセイ

子どもたちに「安心」「自信」「自由」を



CAP滋賀
 小林 明子さん

私はCAP滋賀の一員として、保育園・幼稚園や小・中学校の授業あるいは保護者や教職員向けにCAP(子どもへの暴力防止)のワークショップを実施しています。そんな活動の中で学校や家庭で辛い状況にある子どもたちに出会うことがあります。いじめの被害にあうのは自分に非があるからだと思っていたり、親に殴られるのは自分が悪いからだと思っている子どももいます。ワークショップのあとで辛い体験を話しに来てくれた子どもに「辛かったね」「あなたは悪くないよ」と言葉をかけると思わず涙がこぼれる子どもも。

子どもたちが安心して自信を持って自由に生きていくために、私たちに何ができるのか、いつも自分に問いかけながらCAPの活動をしています。

次回はお話しあそび研究会の木村桂子さんです。

スローグッズ探検隊

NPO団体が開発した人や自然にやさしい商品をご紹介します!



子どもエココイン

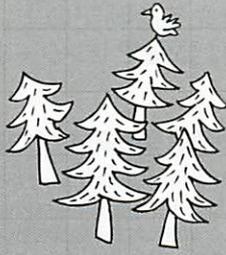
子どもエココインに登場するキャラクターを紹介するホームページ。湖の妖精「しずく姫」が一番人気。

何かを集めたり、友だち同士で交換するのが大好きな子どもたち。そんな子どもたちの遊び心を刺激しながら環境教育・環境学習に主体的に参加できるというプロジェクトが「子どもエココイン」です。

NPO子どもネットワークセンター天気村が主催するイベントで体験したり、活動したりすると、エココインが1個もらえます。コインは12種類あり、たくさん集めると、環境グッズのプレゼントがもらえるなどの特典があります。

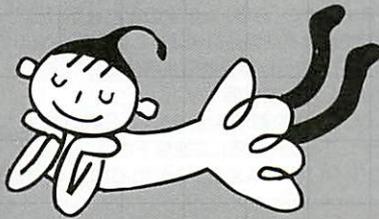
何度もイベントに参加してエココインが貯まったら、自分が持っている同じ種類のコインを、友だちが持っている違うコインと交換できるという楽しみもあり、トレードで友だちの輪を広げることができます。エココインのもらえるイベントは、草津市の保育園や幼稚園、小中学校などに配布されている「K2マガジン」に紹介されています。

【問】特定非営利活動法人NPO子どもネットワークセンター天気村
 〒525-0033 滋賀県草津市東草津1-1-15
 TEL/FAX 077-564-7868
<http://www.biwako.ne.jp/nt-tenki/>



がんばれ!NPO 応援団

市民活動を元気にする情報コーナー



おらみネット マネジメント講座Q&A

市民活動を継続させるためのワンポイントアドバイス。
★お聞きになりたい質問を受け付けています。

●助成金情報の取り方

活動を進めるうえで、いつも資金の確保に苦労しています。助成金を申請しようと思いますが、いつどんな助成金があるのかわかりません。助成金情報を得る方法を教えてください。

■市民活動を進めるうえで活動資金の確保はどの団体も頭を悩ます問題です。活動団体の資金源として、会費・事業収入、補助金・委託金、寄付金の大きく3つに分けることができ、これら3つがバランスよく確保できることが理想的ですが、現実にはなかなかうまくいきません。

助成財団からの助成金も寄付金に含めることができます。助成金をうまく活用できれば活動をより活性化することができますが、最近は助成金へ応募する団体も多く、知名度の高い助成金では競争率が非常に高くなっているのが現状です。申請書の内容は当然大切ですが、助成金情報をいかに早く入手するかもとても大切なことです。

助成金情報を入手する方法として、①インターネットの活用②支援センターやボランティアセンター発行の情報誌の活用③各種新聞や雑誌④自分の持つネットワークの活用があります。この中でもっとも活用できかつ広く情報を得る方法は①のインターネットの活用でしょう。各助成財団は助成金募集をホームページに掲載しますし、また、ほとんどの財団が過去の助成実

め・と・て・と・コラボ

市民と行政、市民と企業などの、新しい市民協働(パートナーシップ)のカタチを紹介します。

近所の課題から地球まで 市民・事業者・行政が、一緒に解決、素敵なおおつ。

..... おおつ環境フォーラム



▲事務局長の堤幸一さん。
「環境問題には、時(とき)のデザインが大切です」。



広報誌「フォーラム通信」。



「地球かんきょう学校」地域のみならず冬芽の観察。

つ環境フォーラム」が発足。「準備には延べ3年かけ、企業や商店街・自治連合会・消費者団体など、環境活動に重要不可欠な組織・団体との連携のもと、あわせて100回を超える会議を持ち、具体的なプロジェクトを生み出した」まさに、行動する組織です。

「単なる任意な集まりというだけでなく、行政計画の中にきちんと位置づけ、予算化されることも重要」と堤さん。「ただ、活動量は予算をはるかに凌駕します。メンバーは積極的です(笑)」。フォーラムの骨格は、「子どもが遊べる川づくり」「菜の花プロジェクト」「大津・環境マネジメントシステム・スタンダード」など12のプロジェクトやグループ。フォーラム事務局は、全体支援を担うとともに、市民の窓口にもなる、いわば中間支援的存在。もちろん、新しいアイデアの持ち込み大歓迎とか。

1992年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた「地球サミット」で、環境保全と持続可能な開発のために採択された「アジェンダ21」(*)をうけ、世界中の地域でアジェンダ21が誕生しました。日本でも京都市などが先駆的に取り組むなか、2000年3月に「アジェンダ21おおつ(大津市地球環境保全地域行動計画)」を策定。翌年12月、市民、事業者、行政のパートナーシップによる実行組織として「おお

3月・4月の掲示板 情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、2月8日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

第二の人生の夢を語り合おうin楽修院大学開講準備室

▶ 1月23日(金) 24日(土)

- 内容 ● 来年9月、第二の人生を自分らしく生きる人を応援する学びの場「楽修院大学」を開講する準備中です。私ならこんな勉強をしたい、大学の仲間とこんな夢にチャレンジしてみたい...など、具体的に希望やリクエストなど自由に話し合う座談会を開催します。詳しくは開講準備室へお問い合わせください。
- 場所 ● ピアザ淡海県民交流センター201会議室(23日) 301会議室(24日)
- 参加費 ● 無料 【問】楽修院大学開講準備室 TEL:077-582-3123(ループランニング内) e-mail:ikedacomue.jp

助成金情報

※詳細は各団体へお問い合わせください。

セブン-イレブンみどりの基金

- 環境市民ボランティア活動助成制度
- 対象団体 ● 日本国内において「環境」を主テーマとして活動している下記のいずれかに当てはまる団体
- (1)「環境の保全を図る活動」を活動目的として認証されている特定非営利活動法人(NPO法人) (2)環境市民ボランティア団体(任意団体)
- 活動分野 ● (1) 助成申請する「活動の目的」が次のいずれかに当てはまる(複数可) ①自然環境保全 ②地域環境美化 ③体験型環境学習 ④生態系保護 ※環境省が定める「レッドリスト・レッドデータブック」で絶滅危惧に分類されている動植物の保護に関わる生態系保護活動に限る ⑤ 環境パートナーシップに基づくまちづくり・地域づくり (2) 助成申請する「活動の種類」が次のいずれかに当てはまる(複数可) ①実践活動 ②調査・研究活動 ※実践及び啓発につながる活動を条件とする ③普及啓発活動 ④環境市民ボランティア間のネットワーク活動
- 対象期間 ● 第1期:各年3月1日～翌年2月末日までの1年間に実施される活動 第2期:各年9月1日～翌年2月末日までの半年間に実施される活動
- 応募締切日 ● 第1期:各年2月末日 第2期:各年6月末日
- 【問】セブン-イレブンみどりの基金環境市民ボランティア活動助成事務局
- 住所:〒105-0013東京都港区浜松町1-27-9 新浜松町ビル6階
- TEL:03-5733-2526 FAX:03-3435-1065
- e-mail:oubo@7midori.org URL:http://www.7midori.org

地球市民財団助成金交付申請募集要項

- 申請書受付期間 ● 当該年度の1月1日から1月末(到着分)まで。
- 申請者の要件 ● (1) 申請者は、個人又は団体のいかなるを問いません。但し個人又は団体としての管理能力を有すること。(2) わが国に実態的な住所を有する個人又は団体であること。(3) 助成事業に関して営利的、宗教的活動及び類似の行為を一切行わない個人又は団体であること。(4) 同一事業に対して他の財団等の助成金等を受けていない個人又は団体であること。
- 助成対象事業 ● (1) 自然災害関連事業 / 開発途上国における地震、洪水、暴風及び豪雨等の自然災害による罹災者の復旧のための 物資又は資金の供与。(2) 教育施設関連事業 / 開発途上国における、小学校、中学校等の義務教育を行う教育施設の設備拡充及び建設。(3) 生活環境向上関連事業 / 開発途上国における住民の公衆衛生及び社会福祉等の生活環境の向上のための援助活動。(4) 人材育成関連事業 / 開発途上国に対する援助活動を行うための人材育成及び派遣又は研修員を受け入れての技術研修。
- 【問】財団法人地球市民財団 事務局
- 住所:〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3
- TEL:03-3234-5188(平日午前10時～午後5時) FAX:03-3234-5770

社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金

- 目的 ● この基金は、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、以て日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。応募資格 ● 次の条件を満たす、非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外となります) (1) 定款に準ずる規約を有し自ら経理し、監査することができる会計機能を有する事。(2) 団体等の主たる事務所(又は準ずる所)を日本国内に有する事。(3) 団体等の意志を決定し、今回申請する活動を執行する体制が確立している事。(4) 団体の活動実績(今回申請する活動又は類似した活動)を3年以上有し、今回申請する活動のニーズが高く今後も継続性が期待できる事。(5) 申請する事業に対し、他の民間団体等からの助成を除く、自己資金を保有する事。
- 助成の対象となる事業 ● (1) 研究助成事業 次のテーマの趣旨に合致する事業 テーマ:「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」(2) 高齢者福祉事業(3) 障害者福祉事業(4) 児童福祉事業(5) 環境・文化財保全事業(6) 国際協力・交流事業
- 募集期間 ● 2月末日まで(必着) ※所定の提出書類(別記)を上記期間内に社団法人全日本冠婚葬祭互助協会事務局までご郵送下さい。
- 【問】社団法人全日本冠婚葬祭互助協会事務局
- 社会貢献基金助成公募 受付係
- 住所:〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2第2秋山ビル7F
- なお、お問合せは、下記のところにご連絡下さい。
- TEL:03-3433-4415 FAX:03-3435-0880 03-3435-0880
- e-mail:webmaster@zengokyo.or.jp

滋賀会館シネマホール 1月の上映予定

- 1月4日(日)
 - 「東京ゴッドファーザーズ」11:00～/16:30～
 - 上映作品が知られない「福袋映画」13:00～/14:45～
- 1月7日(水)～12日(祝)
 - 「HERO」10:15～/14:10～/19:45～
 - 「初恋のきた道」12:10～/17:50～
 - 「東京ゴッドファーザーズ」16:05～
- 1月14日(水)～18日(日)
 - 「宋家の三姉妹」10:15～/13:00～
 - 「楽園の囀」15:45～/19:45
 - 「ブラック・マスク」17:45～
- 1月21日(水)～25日(日)
 - 「宋家の三姉妹」10:00～/15:00～
 - 「ラヴソング」12:45～
 - 「インファナル・アフェア」17:40～/19:40～
- 1月28日(水)～2月1日(日)
 - 「座頭市」10:30～/14:50～/19:10～
 - 「インファナル・アフェア」12:45～/17:00～
- ・各回入替制 ・上映時間・料金はお問い合わせ下さい。
- TEL:077-522-6191 滋賀会館シネマホール

チケット
プレゼント

◆リクエスト受付中!
上映してほしい作品名と住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで淡海ネットワークセンターまでお送りください。抽選で3組6名の方に、滋賀会館シネマホール映画鑑賞券をプレゼントいたします。

クローズアップ・情報BOX



餃子づくりと春節交流会

「春節」は、中国の旧正月のことで、中国では最も重要な行事と言われています。春節を迎える大晦日の夜は家族そろって年越しのごちそうをいただきます。そして午前0時の年明けの時を迎えると、街中では一斉に爆竹が鳴らされ、餃子を食べる新しい年を祝うよう

です。そんな中国の春節を、中国人留学生とともに楽しんでみませんか? 当日は、中国人留学生の指導による本場の餃子づくりも体験できます。

日時 ● 1月18日(日) 9:30～
場所 ● 彦根市民会館 2F
参加費 ● 大人2,000円 学生1,000円
※中国人留学生、研修生は無料
【問】彦根市日中友好協会
TEL:0749-22-3737



行って来て見て 情報BOX 1・2月

イベント情報

ビデオシアター

- ★「ベリカン文書」(アメリカ・1993)
- ▶1月17日(土)10:00~14:00~
- ★「愛は霧のかなたに」(アメリカ・1988)
- ▶2月21日(土)10:00~14:00~
- 参加費●無料※託児ご希望の方は3日前までにご連絡ください。
- 【問】滋賀県立男女共同参画センター TEL:0748-37-3751

Kouka Human Right Festival

- ▶1月17日(土)9:30~
- 内容●大道芸とライブ
- 場所●忍の里プララ(甲南町)
- 参加費●500円※はりはり鍋と牛丼付き!
- ※託児可能
- 【問】あすはる甲賀 TEL:0748-65-4020

第3回「琵琶湖外来魚シンポジウム」

- ▶1月25日(日)13:00~17:00
- テーマ●「外来魚駆除最前線」
- 内容●全国の外来魚駆除活動最前線で尽力されている方々からの報告
- 会場●琵琶湖博物館ホール
- 定員●200名
- 参加費●無料 ※会場へは博物館の入館料も必要ありません
- 【問】琵琶湖を戻す会 URL:http://homepage2.nifty.com/mugitoku/

市民活動交流会 第4回「パワフル交流市民21」

- ▶2月14日(土)10:00~
- 内容●草津市内を中心に活動する市民活動団体やボランティア団体などが、活動発表や交流会を実施
- ※ボランティア・ファーストステップセミナーも同時開催
- 場所●草津市立まちづくりセンターほか
- 【問】草津市市民交流課 TEL:077-567-6120

長浜おやこ劇場 第104回例会 「こまのおっちゃんのこまのサーカス」

- ▶2月14日(土)13:30~
- 内容●日本こま博物館から、こま名人がやってくる!名人芸を見た後、名人によるこまの体験指導のコーナーがあります(こまももらえますヨ)
- 場所●長浜サンパレス
- 参加費●会員無料、一日会員券あり※託児あり
- ※随時会員募集中(入会金300円、月会費900円)
- 【問】長浜おやこ劇場 TEL:0749-64-1527(10:00~13:00)

初笑い落語家さんと遊ぶ Part2

- 1月31日(土)15:00~
- 場所●南彦根クリニック
- 内容●第1部 落語 笑福亭生喬 第2部「落語教室」せんすで遊ぶ、てめくいで遊ぶ など
- 参加費●300円
- 【問】笑ってメンタルヘルス滋賀支部事務局 TEL:0749-24-7808(岩下)

参加者募集

劇団かいつぶり・劇団員募集

- 内容●演劇に必要なトレーニングを行い、年1~2回の自主公演を発表。練習は週1回程度
- 場所●滋賀会館
- 参加費●1,000円(団費/月)
- 【問】劇団かいつぶり TEL:077-567-4909(鈴鹿)

眠った絵本に新たな夢を...

- 内容●あなたの家に眠ってしまった絵本はありませんか?読まなくなった私たちの絵本をネパール語に訳し、ネパールの小学校や孤児院などの施設に届けよう!!絵本には贈ってくれたあなたの名前を残します。少しでも興味を持たれた方は、まず一度連絡をください。ご協力よろしくお願ひします。
- 【問】伊藤 TEL:090-8392-3515 e-mail:ai_528@hotmail.com

大津市南部障害児学童ボレボレ・保育ボランティア募集

- 障害のある子どもが、放課後に安心して遊べる場、友だちと一緒に遊べる場がほしい、豊かな放課後に過ごしてほしいという願いから、草津養護学校に通う小・中学生の知的及び肢体の障害児のための学童保育を開設しています。子育てにそろそろ手が離れてきたお母さん、学生さん、是非お願ひします。土日お休みのお父さんも大歓迎です。
- 開所日・時間●水曜日/14:10~17:00 土(または日)曜日/10:10~15:00
- ※登録していただき、年間を通じて都合のつく日だけでもOKです。
- 主な活動場所●水曜日/草津養護学校 土(または日)曜日/県立障害者福祉センターまたはノエルしごとの家(帝産バス瀬田神領団地前)
- 【問】昼間/松本 TEL:077-543-6025 渡辺 TEL&FAX:077-543-6708 夜間/西川 TEL&FAX:077-537-5782

「国際交流の広場」ボランティアスタッフ募集

- 3月7日(日)開催予定の在住外国人と市民との交流イベントを盛り上げてくださる方を募集しています。
- 内容●◎企画運営スタッフ→イベント内容の企画、準備、PR、当日の運営などイベント全体に関わっていただける方 ◎当日スタッフ→企画や準備には参加できないけれど、当日、スタッフとしてお手伝いくださる方。
- 年齢・国籍・語学力不問!
- 【問】守山市国際交流協会事務局 TEL:077-583-2975 FAX:077-582-0539 e-mail:mkokusai@usenet.ne.jp URL:http://www.usenet.ne.jp/mkokusai

「みんなで天井川(旧草津川)に未来を描こう!」2本立て企画

- ☆その1:アイデアを地図に描き込むワークショップ
- ▶2月1日(日)14:00~16:00(色マジックペン持参ください)
- ☆その2:知恵を出し合うシンポジウム
- ▶2月8日(日)14:00~16:00(筆記用具持参ください)
- いずれも、草津市立まちづくりセンター1Fふらっとサロン(草津駅西口徒歩3分)
- 参加費●無料(事前申し込み不要)
- 【問】天井川ストーリープロジェクト運営会議 TEL&FAX:077-566-0138 e-mail:mother-lake@h3.dion.ne.jp(檀原)

ともに学ぼう「ともガク講座」

- 内容●一緒に考えませんか、学びませんか。ともに学ぶ、パートナーを募集しています。みんなで話し合っ好きな講師、聞きたい講師を選んでともに学びましょう!
- 開催日●第1回:1月31日(土) 第2回:2月21日(土)予定 第3回:3月13日(土)予定
- 場所●自主活動センター きすな
- 定員●25人
- 参加費●2,000円(予定)
- 【問】水口21世紀まちづくり委員会 TEL&FAX:0748-62-3687(中山孝彦) URL:http://www.ex.biwa.ne.jp/mina21mach/

三方よし研究所情報誌「三方よし」編集ボランティア募集

- 内容●三方よし研究所(特定非営利活動法人)では、来年度に向けて情報誌「三方よし」を発行します。近江商人の知恵と理念を現代に生かす情報誌です。興味のある方は一度事務局までご連絡ください。
- ※「三方よし」は近江商人の経営理念。「売り手よし 買い手よし 世間よし」の精神で地域社会に大きく貢献。
- 【問】三方よし研究所 TEL:0749-22-0627(岩根)

勉強会・交流会

茜トークサークル第95回例会

- ▶1月31日(土)13:30~
- テーマ●「本当の生きがいとは何だろうか」
- 場所●大津市生涯学習センター
- 参加費●500円
- 【問】茜トークサークル事務局 TEL:077-522-6897(木下)

創業支援講演会・相談会

- ▶1月21日(水)14:00~
- テーマ●「女性起業家の挑戦 ~泣き笑いプロ意識~」
- 講師:(株)ポピンズコーポレーション代表取締役 中村紀子氏
- 場所●琵琶湖ホテル 瑠璃の間
- 参加費●無料
- 定員●200名(先着申し込み順)
- ※なお、当日は、一時保育を行います(事前に予約が必要です)
- 申し込み方法●創業支援室あて電話・FAXのいずれかで氏名(ふりがな)・連絡先・電話番号(FAX番号)をご連絡下さい。折り返し参加票を送付します。
- 【問】ジョブステーション草津 創業支援室 TEL:077-567-0122 FAX:077-567-9988

全国ボランティアコーディネーター研究集会2004

- ▶2月20日(金)~22日(日)
- (基礎・入門編:2月20日、21日、研究・実践編:2月21日、22日)
- 内容●年に一度、全国各地の様々な分野・団体・機関で活動するボランティアコーディネーターが集まり、交流し、学び、高め合う研究集会。
- 会場●京都新聞文化ホール・京都市中京区・烏丸丸太町エリア
- 定員●500人(基礎・入門編:200人、研究・実践編:300人)
- 参加費●10,000円(一般)、8,000円(JVCA会員)
- 申込締切:1月28日(水)
- 【問】全国ボランティアコーディネーター研究集会2004実行委員会事務局 担当:赤澤、芝原 住所:〒604-8155 京都市中京区烏丸通錦小路西入占出山町308山忠ビル2階 きょうとNPOセンター気付 TEL:075-223-5291 FAX:075-223-5292 URL:http://www.npo-net.or.jp/jvcc2004
- ※申込は所定の申込書にて。まず、詳しい募集要項を取り寄せてください



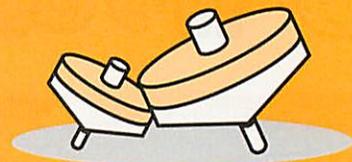


第2回（2004年）おうみNPO活動基金助成事業助成団体決定

淡海ネットワークセンターでは、自主的なNPO活動が積極的に進められるよう、「おうみNPO活動基金助成事業」を創設し、第2回（2004年）助成事業を募集し、このたび助成団体を決定しました。

- 第2回募集期間：2003年9月2日～10月15日
- 応募NPO数：46団体
- 1次審査（書類選考）：11月15日（土）にサポート委員会による1次審査を実施し、プレゼンテーションへ進む20団体を選考
- 公開プレゼンテーション：12月7日（日）に20団体が参加しての公開プレゼンテーション実施
- 2次審査：プレゼンテーション終了後、直ちに2次審査を行い、助成NPOを選考。審査の結果を受けて、8団体への助成を決定。

採択団体	助成金額(円)
NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター	740,000
NPO法人柚の会	2,000,000
NPO法人NPOほぼハウス	1,000,000
NPO法人蒲生野考現倶楽部	1,560,000
早崎ビオトープネットワーク	600,000
NPO法人カズン	2,180,000
NPO法人サポートハウスほほえみ	500,000
滋賀会館シネマホールファンクラブ	1,000,000



編集後記

「自分の名前を手話で覚えてね。木の「松」を表す形、「井」という文字を表す形、温泉マークから来た「ゆ」、三つを表す「み」、子供の「子」。「へ～」を連発しながら、ろうあの人たちが編み出した「言葉」を噛みしめた。「お互いの付き合いが深いほど短い手話で分かり合える」とか、みょうに納得した次第です。

（編集ボランティア 松井）

今回取材させて頂いた水口21世紀まちづくり委員会の方はとても楽しそうでした。水口は水に恵まれ地酒もおいしい。お祭りにもいっぺん行ってみたいもんです。

（編集ボランティア 幅）

守山手話さんが行っている、小中学校への手話啓発活動。その課題の一つに、啓発活動の結果、もしも生徒たちが手話に興味や関心を抱いてくれた時、その芽を育てていくにはどうすればよいか、という点が挙げられる。「英語」が教育現場に浸透していったように、「手話」という言語に対する教育のあり方を、今一度見直す必要があるのではないだろうか。

（編集ボランティア 村上）

あけましておめでとうございます。センターが7年目に入りました。これからも淡海の市民活動を応援するため様々な事業を展開していきます。本年もよろしくお祈りします。

（事務局 川勝）



おうみNPO活動基金助成事業 成果発表会開催のお知らせ

第1回（2003年）おうみNPO活動基金助成事業助成団体による事業成果発表会を下記日程により開催します。

皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2月29日（日）14時～

場所：ピアザ淡海県民交流センター207会議室

おうみ未来塾研究成果発表会開催のお知らせ

おうみ未来塾4期生の4つのグループが1年かけて研究してきた成果を発表します。

日時：3月7日（日）午後

場所：ピアザ淡海県民交流センター207会議室

※詳細はセンターホームページ、メールマガジンにて後日お知らせします

淡海ネットワークセンターブックレット Vol.19,20発行！！

ブックレット（19）
NPOと行政とのパートナーシップのためのしくみづくり
～ローカルコンパクトへの第一歩として～
白石 克孝（龍谷大学法学部教授）監修



ブックレット（20）
電子ネットワークとNPO
～藤前干潟に学ぶ情報社会の広報戦略～
松浦 さと子（龍谷大学経済学部助教授）



1冊 300円（送料別）
※ご希望の方はセンターまでお申し込みください

3月号のアンケート

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで下記までご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。アンケート締切：1月末日

- Q1/森の役割で一番重要な事は？
a.二酸化炭素を吸収し地球温暖化を防ぐ b.パルプ・木材資源の供給 c.動植物を育む d.人間の心を癒す e.その他
- Q2/森が荒れている一番の原因は？
a.乱開発 b.林業の行き詰まり c.使い捨て社会 d.酸性雨 e.山火事 f.焼畑農業 g.その他
- Q3/あなたは新聞・古雑誌をどうしていますか？
a.自治会で回収 b.チリ紙交換に出す c.ゴミとして捨てる d.燃料に使う
- Q4/高知県が県民税に一律500円を上乗せする「森林環境税」を導入しました。滋賀県もするとしたら？
a.賛成 b.もっと企業が負担すべき c.高すぎる d.税金の使い方による e.反対
- Q5/森を守るために何をしたらいいと思いますか？

淡海ネットワークセンター

（財）淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net

■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日（12/29～1/3を除く）

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

・各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、さくらホール、滋賀銀行、郵便局（ボランティア貯金窓口）、公民館など

